

足羽福祉会サービス実践報告会

社会福祉法人 足羽福祉会
〒910-2178 福井県福井市榑野町 20-7

助成事業の概要

実施目的：足羽福祉会の日々のサービス実践を通して、福祉サービスの向上・改善に取り組む力・専門性を高めることを目的に、日頃の取組みを形にして発表し広く検証し評価を受ける。法人職員にとっても新たな気づきや仕事に対する意欲向上に繋がることも目的としました。

→当初は集合研修を予定。新型コロナウイルス感染拡大防止観点から、10月20日付で事業内容等変更承認申請書を提出。10月28日に貴財団法人より変更承認通知届く。

時 期：6月→法人内各事業所の取組み調査 24事例から9事例を選出

10月14日→第1回事前研修開催：9事例の現状報告を行い分野専門の助言者より指導

令和3年2月：2週間かけて報告会前の事前練習、最終の資料確認

令和3年2月24日→報告会動画撮り、助言者2名出席のもと発表

令和3年3月：動画DVD、報告冊子「思い」作製

内 容：別添冊子「思い」関係機関・団体、当法人関係者、各事業所に配布

DVD作成：法人ホームページ(職員専用)からYouTubeにリンクし広く職員に

啓発

各事業所職員会議において報告

事業の成果

当初計画では、12月に集合研修形式で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染の状況を勘案し、本年度は企画内容を変更、承認を受け、準備に取り組みました。

- ① 足羽福祉会が提供する福祉サービス実践の取組みについて、専門家の助言もいただきながら広く検証し評価を受けることで、サービス内容の充実を図ることができた。
- ② 足羽福祉会職員自らが、事業所での取り組みを確認する中、専門性を高め日々の実践活動の充実に繋げることができた。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止をする中、各事業所の事例発表を動画撮影したことで、その内容について法人全職員にホームページを通じ啓発できた。集合型では日常の福祉サービス提供の業務があるため集合型報告会に参加できなかった職員もいたが、動画配信により職員研修としても活用できた。
- ④ サービス実践報告集「思い」を作成し、広く当法人の活動内容について周知することができた。
- ⑤ 今後の当法人の福祉サービス実践の取組みや、仕事に対する意欲向上に繋がり利用者様に喜ばれる福祉サービスの提供に各分野資することができた。

■ 成果の広報・公表

今回は、前述のコロナ感染防止のために、初めて、会場での報告会ではなく動画の配信としました。YouTube を利用しましたが、当関係者、団体、他法人等に職員を通じて広報活動を行い、法人のホームページから YouTube にリンクする方式を取ることにしました。一旦、ホームページを通過するために、当法人や社会福祉全般の理解においても、相乗的な効果もありました。

動画を見た方からは、福祉現場における大変さや職員の利用者様を思う気持ちへの共感はもちろん、長期にわたる創意工夫にも感銘を受けたようでした。

また、実践を通しての職員育成についても、発表者（職員）は成功体験を得ることができ、また、プレゼンテーション能力の向上にも効果がありました。

今回は、初めて動画での報告会になりましたが、しっかりした記録を長期にわたって残すことができ、同時に報告書「思い」も作成することができました。この「思い」は、今までに大学において福祉活動の資料として学生にも参考とされており、これに報告会の動画も加わり、法人としては積極的に紹介をしていきます。

■ 今後の展開

福祉活動における実践報告（報告会、動画配信、印刷物）を、今後も継続的に行なっていく、福祉を広く周知していきます。この活動は、当法人としては、社会や地域に福祉現場の実態を理解していただくための活動として捉えていると同時に、職員の実践を通してのスキルアップも目指しており、引いてはどんな困難事例であっても乗り越えることのできる人間形成も視野に入れております。

このような福祉活動の記録としての「サービス実践報告会」の動画や報告書「思い」ですが、現在、当法人にとって、大切な財産であり、ここで得られた経験、知識は将来的には、次世代の福祉につながる社会全体の財産になると考えております。そのためにも今後も継続していく所存でございます。

このような活動にご理解をいただいた御財団に感謝申し上げます。